

事業箇所総合評価シート

【担当課:道路建設課】

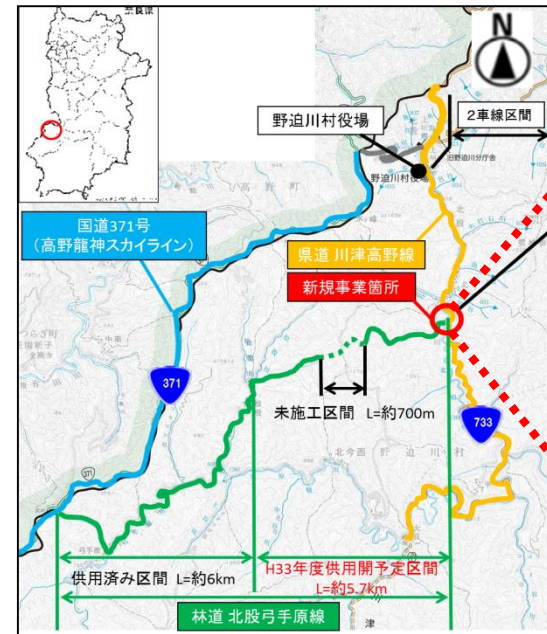
事業名	防災・安全交付金事業(道路改良)	路線名等	かわづ こうや 一般県道 川津高野線
箇所名	きたまた 吉野郡野迫川村北股		
事業の概要	目的	一般県道川津高野線は、野迫川村内の生活交通を担う重要な路線である。しかし、当該区間は、幅員狭小及び線形不良から車輛のすれ違いが困難な状況であるため、2車線整備により、安全で円滑な交通の確保を図る。	
	事業内容	【奈良県道路整備基本計画の位置付け】 「安全・安心を支える道路整備の推進」:災害に強い道路の整備	
	着手年度	平成30年度	完成年度 平成33年度 全体事業費 230百万円

事業の必要性	【必要性】	<ul style="list-style-type: none"> ①幅員狭小で離合が困難であるため、救急医療搬送や車両の通行に支障をきたしている(写真1) ②当該箇所は、村営バスの運行経路であるため、バス路線の安全性の確保と走行性の向上が必要(運行本数:1往復/日,利用者:約2,800人/年)(図1・表1) ③平成33年度に開通予定の林道と連携して整備することで、野迫川村南部から役場へのアクセスが向上する(桧股の集落から役場まで約4kmの短縮)(図2) ④県外からの来訪促進や村内周遊観光の向上に繋がる(図3)
	【緊急性】	<ul style="list-style-type: none"> ①林道北股弓手原線が平成33年度に開通予定であり、当該箇所はこの林道の接続部に当たるため、林道整備の効果を最大限発揮するためにも、林道整備に合わせた早期整備が必要 ②救急医療搬送の速達性の確保のため、早期の整備が必要

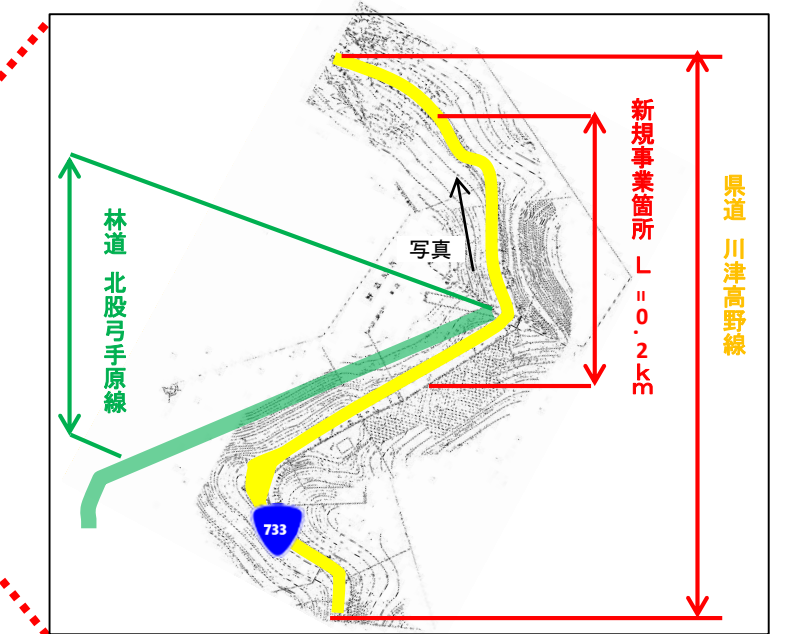
上位計画等	
事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<ul style="list-style-type: none"> ①狭隘区間の解消による村内の生活交通の安全性確保 ②バス路線の安全性確保と走行性向上 ③林道と連携した整備による役場へのアクセス性の向上 ④救急医療搬送の速達性の確保
コスト縮減への取組み	
地元情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度 野迫川村から整備に関する要望書が提出されている ○平成29年10月より野迫川村が専属職員を配置し当工区の公図整理を実施中
他計画他事業との関連	○野迫川村による林道 北股弓手原線の整備

評価結果	左の理由
採択	幅員狭小区間の解消及び林道整備との連携から事業実施は妥当である

【位置図】



【平面図】

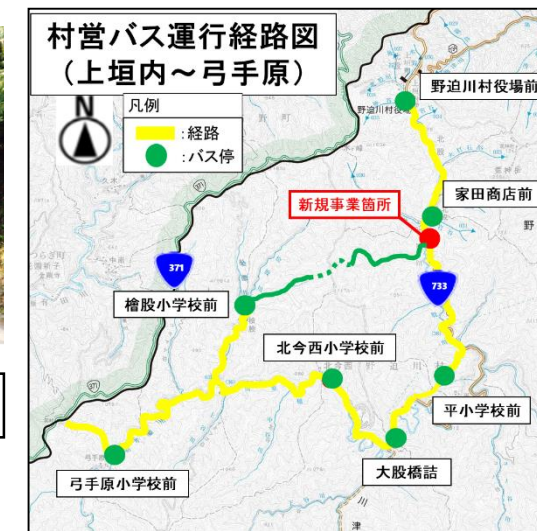


【現況写真】 (写真1)



幅員が狭く離合が困難

【村営バス運行経路と実績】 (図1・表1)



目的	通学	通院	その他	合計(人)
H28 9月	164	20	3	187
10月	157	16	5	178
11月	176	17	3	196
12月	148	25	0	173
H29 1月	173	16	3	192
2月	248	17	0	265
3月	235	9	34	278
4月	197	15	30	242
5月	225	10	34	269
6月	275	22	35	332
7月	214	17	18	249
8月	135	18	53	206
合計	2347	202	218	2767

【林道開通による効果】

【野迫川村南部から役場へのアクセス】(図2) 【村内周遊観光の向上】(図3)

